横越村消防団

日頃の練習成果を披露

秋季合同演習大会開催

足速に秋が遠退くように一日中時雨ていた十月十二日、横越村消防団の秋季演習大会が横越小学校体育館で開かれました。

消防団は日頃からその活動が発揮出きるよう練習を重ねてきたものを、年に一回合同大演習を行うもので、横越村長や新潟南警察署長らを迎え高橋団長以下二百二名が参加して行われました。

八時半から体育館で団長より訓辞を受けたあと、浅見村長からの励しと今後の活躍を期待する訓話を受けて、分団毎の関団と人員姿勢服装点検を受けました。

日頃の練習をこの大会にと緊張の余り、整列号令の順番や番号かけを間違うなどのハプニングもありましたが、全員が整然ときびきびとした点検を受けていました。

次のポンプ操法訓練はグランドが水浸しで使用できず休止となりましたが、分列行進は小学校の正門前からグランド入口までの間を団旗を先頭に六分団と自動車ポンプ一台、積載車六台、可搬式ポンプ十二台が参加する大行進が堂々と行われました。

堂々と行進するポンプ車の列

続いて体育館で、浅見村長から、日頃の訓練の成果が表れ立派であったとの講評があり、次いで去る八月十日の県消防大会で表彰された日本消防協会や新潟県知事の受章伝達が行われ、植木博幸第五分団長ら十二名がそれぞれの章を伝達され、大会が終了しました。

受章者

◎日本消防協会精績章
中川　敏弘　第三分団
残間　信一　第三分団
佐藤　誠一　第五分団
田村　雅夫　第六分団

◎新潟県知事功績章
植木　博幸　分団長

◎新潟県消防協会功績章
八幡　由郎　第一分団
田中與志雄　第二分団
小林　一彦　第二分団
豊崎　忠男　第三分団
渡辺　勉　第三分団

◎新潟県消防協会精勤章（精勤十年）
大竹　信一　第三分団
小出惣一郎　第三分団

◎三市中蒲地区支会精勤章
植木　博幸　分団長
松本　久雄　分団長
小出惣一郎　分団長

小杉地区が優勝

〈第17回村民大運動会〉

第十七回村民大運動会が、十月十日体育の日に横越小学校グランドで行われ、小杉地区が通算四回目の優勝をしました。

お年寄りから幼児まで参加できる盛り沢山のプログラムが用意された運動会には、選手、応援団ら千人余りが参加し、快晴に恵まれた秋空のもとで、終始なごやかにいい汗を流していました。

各地区とも地区対抗種目では、競技、応援ともに白熱戦を展開。午前中は、今年は優勝をと意気込み奮闘する木津地区が大量リードで首位に立ち、断然有利と思われていましたが、午後になって、小杉地区が得意の綱引きや選抜リレーで底力を発揮して、他を圧する健闘をみせ、最後の競技で木津地区をも追い抜き逆転優勝しました。

また、この運動会の席上、村体育協会（会長佐藤栄太郎）は、優秀競技者章として、佐藤忠昭（クレー射撃）、山田明夫、神田達郎、遠藤直志、（高校バスケットボール）、高橋陽子（高校テニス）、米山毅史、石井一浩、小野塚純、角田清志、安彦勉（銃剣道）のほか、ゲートボール全国大会出場者八名（別掲）らを表彰しました。

万一の大火に相互応援を

新潟地区消防応援協議会総会を開催

消防相互応援について協議

十月十五日農村環境改善センターで、第五十八回新潟地区消防応援協議会総会が石井県防災課長ら関係者を招いて開かれ、各市町村間の消防相互応援を協議して閉会しました。

この消防応援協議会は新潟市を中心にして亀田町、新津市、豊栄市、小須戸町、村松町、新津市、白根市、黒埼町、西川町、巻町、横越村の十二市町村が、万一の火災の際消火活動の応援にかけつけることをねらいとして結成された協議会です。昨年度の各市町村が消火に応援出動した回数は全部で二十七回、そのうち横越村が出動したのは、新津市へ一回、亀田町へ一回の合計二回出動し消火活動のお手伝いを行っています。

11月の納税等

固定資産税	4期
国民健康保険税	4期
下水道受益者負担金	3期

横越チーム全国大会出場

県ゲートボール選手権大会で見事優勝飾る

県ゲートボール選手権大会で優勝したチームのみなさん

さる九月二十五日、新潟県ゲートボール連盟などが主催する第二回新潟県ゲートボール選手権大会が行われ、横越村チームが見事優勝し、第二回全日本選手権大会の出場権を獲得しました。

この日は県下四ブロックの予選を勝ち抜いてきた三十二チームが参加して、新潟市陸上競技場補助グランド特設コートで秋晴れのもと、白熱した試合が展開されました。

横越村チームは、二本木・木津地区混成チームで八月九日の下越大会を勝ち進み初出場。強豪チーム相手に接戦が展開された中、絶妙なチームワークで実力を発揮し、ブロック予選リーグから決勝トーナメント戦に勝ち進み、決勝でも関川村チームを十四対十で敗り見事優勝しました。

全国大会に出場された選手のみなさんは次の方々です。

監督　遠藤　寛司（二本木）
選手　横山　七郎（二本木）
〃　遠藤　広次（二本木）
〃　渋谷　泉（二本木）
〃　小柳芳太郎（二本木）
〃　金子　金次（木津）
〃　遠藤　秀雄（二本木）
〃　原　重夫（二本木）

十月二十五、二十六日金沢市で行われた第二回全日本選手権大会に出場した横越村チームは、予選リーグで一勝二敗と健闘及ばず惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんでした。

出場に際し応援、支援くださいました皆さんありがとうございました。

税を知る週間

11月11日(火)から17日(月)

この社会あなたの税がいきている
新潟税務署

国は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように幅広い活動を行っています。

税金は、国や地方公共団体が活動するために大切な財源となっています。このように重要な役割を果たしている税金についての仕組みや、使い道などを皆さんに十分理解していただき、正しい申告と納税をしていただくことが必要です。

今年も、十一月十一日(火)から十七日(月)までを「税を知る週間」とし、この期間中、『この社会あなたの税がいきている』をメインテーマに新聞やテレビ・ラジオなどを通じた座談会やデパートなどでの臨時税務相談、税金展の開設など各種の行事を行っています。

なお、税金について困った時や分からない時は、「税を知る週間」期間中に限らず、最寄りの税務署・税務相談室（☎〇二五-二二四-三七一〇）へお気軽にお尋ねください。

この人を訪ねて

夢の県大会出場で優勝
全国大会へも出場

二本木　遠藤　寛司（69歳）

最近、お年寄りだけでなく若い人たちにも人気が高まり年々愛好者が増加しているゲートボール。

遠藤さんがゲートボールを始めたのは今から五年前。会社を辞めぶらぶらしている頃人から勧められ、スティックを握るようになったそうです。

若い時から走る・蹴る・跳ぶとスポーツ万能選手だった遠藤さんは、最初、ゲートボールをただボールを打つだけのものと簡単に考えていましたが、実際にやってみると、なかなか難しい競技規則のうえ、打撃も思うようにいかず大変悔しい思いをしたことがあり、これを機にゲートボールに打ち込むようになったそうです。

それから規則の勉強や練習に励み、今では、村内でまだ二人だけという公認審判の二級資格を取得し、村内外の試合の審判や指導者としても活躍されています。

五十八年四月に講習を受け、指導者手帳をもらったことが切っ掛けとなり、その後二級の公認審判員の試験を五十九年十一月に受けることになったわけですが、そのときのことを、「行った以上パスしてこようと、ゲートボールをしながらも、家に帰っても、暇さえあれば本を読み勉強したものです。試合会場となった巻町の青少年研修センターでは、一泊二日その中に缶詰にされ、もうこんな所、二度と来られないと思ったほど厳しい規律のもとで、学科・実技・面接試験を受けてきました。」と苦労を話していました。

現在、遠藤さんは自分自身もプレーする傍ら、地区にあるチームの監督でもあり、これまで一度は県大会に出てみたいという夢も、二本木を中心とするチームで、各予選大会を勝ち抜き達成、それも初出場で初優勝を飾り、全国大会出場という快挙を成し遂げました。

自宅には、ゲートボールの本や新聞がたくさんあるほか、テレビのベストゲートボールの番組予定表が貼られているなど常に研究熱心。黒板には、ゲートボールの日程がびっしり記入され、毎日審判や指導に情熱を燃やす遠藤さんですが、「やはり自分でスティックを持って、タマを打っているほうが楽しいですよ。」と話していました。

ゲートボールに情熱燃やす遠藤さん。毎日審判、指導にと忙しい。